

時代とハートを動かす

**SEIKO**

2018年3月期 年次報告書

2017年4月1日～2018年3月31日

# Report



グランドセイコー キャリバー9S 20周年記念限定モデル STGK002 (世界限定50本)

セイコーホールディングス株式会社

## グローバル市場での リーディングカンパニーを目指し、 さらなる成長を加速します



代表取締役会長 兼 グループ CEO  
服部 真二

代表取締役社長  
中村 吉伸

### ■2018年3月期の経営成績

#### ウオッチ事業・システムソリューション事業の 伸長により、増収増益を達成

2018年3月期の連結売上高は、2,685億円(前年度比4.4%増)となりました。利益面では、営業利益108億円(同44.7%増)、経常利益109億円(同63.5%増)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は115億円(同114.0%増)となりました。

ウオッチ事業は、グローバル市場における高価格帯強化のマーケティング戦略が着実な成果を挙げています。独立ブランド化した「グランドセイコー」は、国内外ともに好調に推移しました。米国ビバリーヒルズに初出店したグランドセイコーブティックが売上を伸ばしているほか、世界各国の時計有識者等がベストウオッチを選考する「Watchstars Awards 2017/2018」では、昨年発表した初代グランドセイコーの復刻版が「Classic Star」賞を受賞しました。最高峰の腕時計を目指し、正確さ、美しさ、見やすさといった腕時計の本質を高い次元で追求・実現し続けるグランドセイコーは、世界的に高い評価を得ています。



グランドセイコーブティック  
ビバリーヒルズ

初代グランドセイコー  
リミテッドコレクション 2017「復刻デザイン」

日本の伝統工芸や匠の技を融合した本格機械式腕時計「プレザージュ」や、スポーツシーンでの実用性とデザイン性を兼ね備えた「プロスペックス」なども売上を伸ばしています。

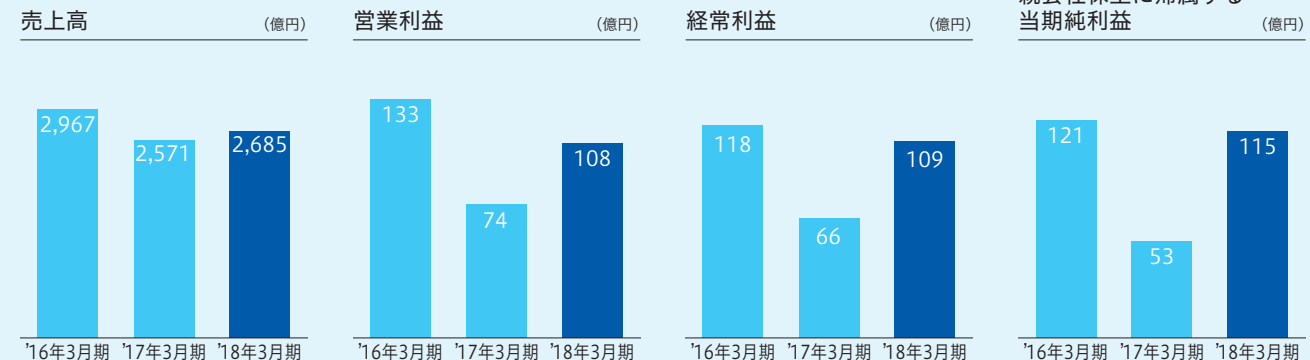
流通別では、国内は専門店やアウトレットに加えて、インターネット向けの売上が増加しました。海外では特に中国でのEコマース販売が好調に推移しています。IT時代を背景に、デジタルマーケティングによる効果的な広告宣伝にも注力していきます。

電子デバイス事業は、2018年1月に半導体事業が連結範囲を外れましたが、各製品分野において着実に収益体質が向上しています。特に機械式腕時計用のぜんまい材料として誕生し、半導体製造設備や医療用機器など多分野で使用されている高機能金属製品や、POS端末用サーマルプリンタなどが堅調に推移しました。

そして最も勢いがあるのがシステムソリューション事業です。車載機器や設備のIoT化を支える各種モバイル無線通信機器、放送・通信向けのネットワーク関連機器が好調に推移しました。また、情報の安全性や信頼性を保証するサービスの需要が増え、カード決済における情報照会システムや電子契約サービスなどが成長しています。コンピュータ性能管理ソフトウェアを展開する(株)アイ・アイ・エムの取得による効果もあり、全ての四半期において増収増益を達成しました。

その他に含まれる事業では、(株)和光が、本館1階ウオッチ売場を改装し「セイコーフラッグシップサロン」をオープンしたことで好調に売上を伸ばしたほか、和光70年記念商品の投入が来店者の増加と売上拡大に寄与しました。クロック事業は減収となりましたが、家庭用からくり時計30周年記念モデルやマルチサウンドクロックなどの新製品投入を積極的に進めています。

### 決算ハイライト





## ■第6次中期経営計画の進捗状況

### 経済情勢・市場環境の変化を受けるも、収益力の強化と成長への投資を継続

第6次中期経営計画(2017年3月期～2019年3月期)は、グループの中核事業であるウォッチ事業がインバウンド需要の想定を超えた落ち込みやウェアラブル端末の伸張による影響等を受けたことから、最終年度の数値目標に対し連結売上高、連結営業利益ともに未達の見通しとなっています。一方、電子デバイス事業は堅調に推移し、システムソリューション事業は好調に推移しています。経済情勢・市場環境が変化する中、グローバル市場でのさらなる成長を目指し、収益力の強化と成長への投資を継続して行います。

ウォッチ事業は当社の強みである中・高価格帯をブランドビジネスの根幹と位置づけ、機械式やスプリングドライブを中心とした高級腕時計へのシフトを継続強化します。感性に響くデザインや宣伝、そして時計の本質を追求する技術開発ストーリーや歴史を伝えることによって商品の魅力を訴求し、各ブランドの強みを伸ばしていきます。



電子デバイス事業は、2018年4月に、中核企業であるセイコーインスツル(株)の経営体制を刷新しました。新製品開発とともに販売力の強化と収益性の向上を図り、事業の確実な成長を進めていきます。

システムソリューション事業は、売上高・営業利益ともに最終年度の計画を前倒しで達成することができました。お客さまに継続的な価値を提供する仕



組みを拡大することにより、安定的な収益を創出し、さらなる成長を目指します。

その他に含まれる事業においては、安定的な収益体質の維持・向上に継続して取り組み、銀座の中心地、和光での小売や、世界各地で開催されるスポーツ競技大会の計時支援を通して、売上を拡大していきます。

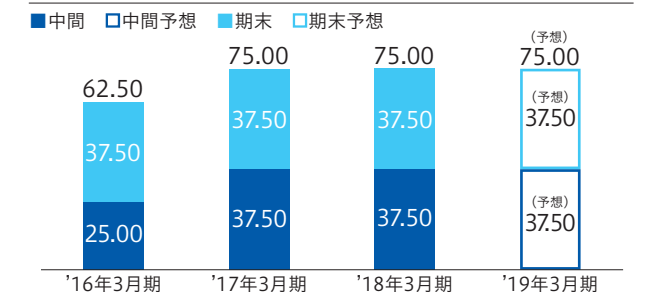
## ■株主還元

### 継続的・安定的な配当の実施を基本方針としています

株主の皆さまへの還元については、グループの連結業績をベースに、経営基盤強化のための内部留保の充実にも配慮しつつ、長期的な観点から継続的・安定的な配当を実施することを基本方針としています。

この方針に基づき、2018年3月期につきましては、1株当たり75.0円の配当(中間配当37.5円<sup>※</sup>、期末配当37.5円)とさせていただきます。

### 1株当たり配当金

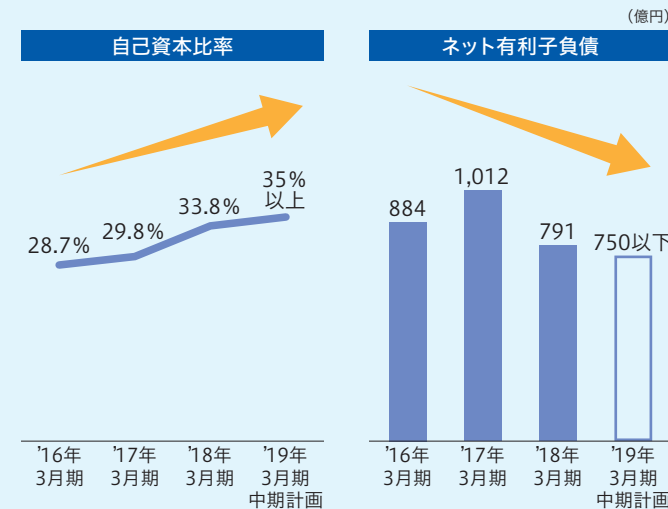


<sup>※</sup> '18年3月期中に普通株式5株を1株とする株式併合を行っています。'16年3月期期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり配当金を算定しています。

## 第6次中期経営計画 進捗状況

		第6次中期経営計画				(億円)
		'16年3月期	'17年3月期	'18年3月期	'19年3月期	'19年3月期
		実績	実績	実績	業績予想	中期計画目標数値
ウォッチ事業	売上高	1,644	1,345	1,401	1,400	1,900
	営業利益	127	76	79	90	170
電子デバイス事業	売上高	949	840	818	600	750
	営業利益	29	38	57	20	25
システムソリューション事業	売上高	194	202	274	290	250
	営業利益	3	12	16	20	15
その他	売上高	282	270	278	300	300
	営業利益	9	3	5	5	10
連結合計	売上高	2,967	2,571	2,685	2,500	3,100
	営業利益	133	74	108	80	170

※5月11日発表値



# ICTソリューションで お客さまのイノベーションを実現

IoT時代の到来を迎え、デジタルテクノロジーの急速な進化により、社会構造や産業構造は大きく変化しています。

システムソリューション事業を担当するセイコーソリューションズ(株)は、デジタル化による業務効率化を推進する電子データの存在証明や、4K・8K放送を可能にする放送業界設備の時刻同期など、今後市場拡大が見込まれる複数領域で事業を展開しています。プロフェッショナル人財の育成にも力を入れ、提案力の強化に取り組んでいます。

2017年4月には、システム性能管理ソフトの国内トップシェアを有する(株)アイ・アイ・エムを子会社化し、さらに充実したトータルソリューションが可能となりました。



セイコーソリューションズ(株)は、「お客さまのために」を企業理念とし、顧客視点のICTソリューションでさまざまな課題解決に貢献しています。

主語はお客さまであり、お客さまの問題に精通し、お客さま視点の価値を提供いたします。これからも私たちは、信頼されるビジネスパートナーとして、お客さまの成功に向けてビジネス変革をサポートいたします。

セイコーソリューションズ(株)  
代表取締役社長

関根 淳



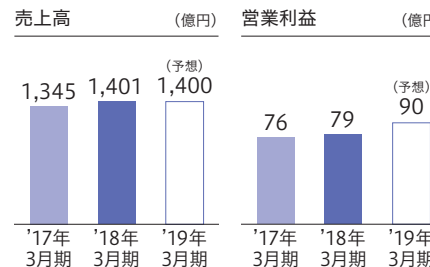
## セグメント別情報

### ウォッチ事業 51.7%

おもな製品 ウォッチ、ウォッチムーブメント

売上高 1,401億円 前期比 4.1%増

営業利益 79億円 前期比 3.8%増



グランドセイコー



セイコー  
プロスペックス



タイムサーバー



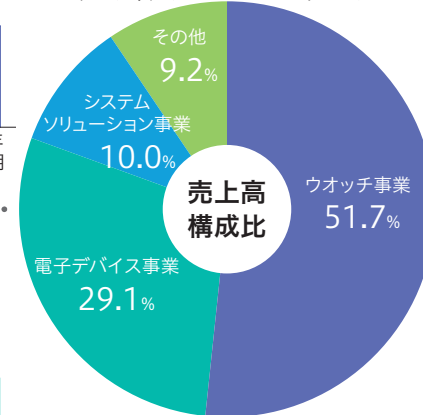
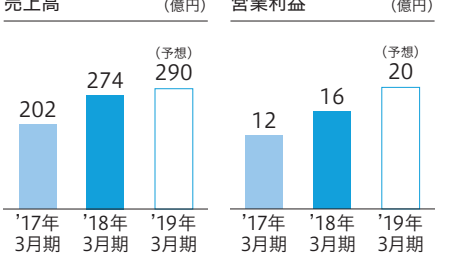
タイムスタンプ  
サービス

### システムソリューション事業 10.0%

おもな製品 無線通信機器、情報ネットワークシステム、データサービス

売上高 274億円 前期比 35.1%増

営業利益 16億円 前期比 25.1%増

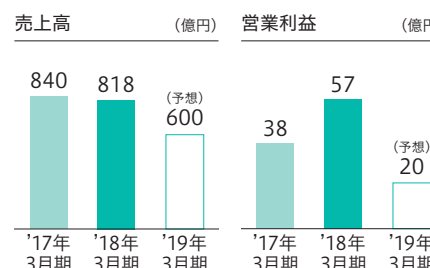


### 電子デバイス事業 29.1%

おもな製品 水晶振動子、電池・材料、プリンタ、ハードディスクコンポーネント

売上高 818億円 前期比 2.6%減

営業利益 57億円 前期比 52.1%増



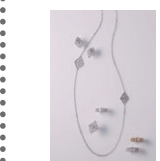
高性能金属製品



サーマルプリンタ



家庭用  
からくり時計



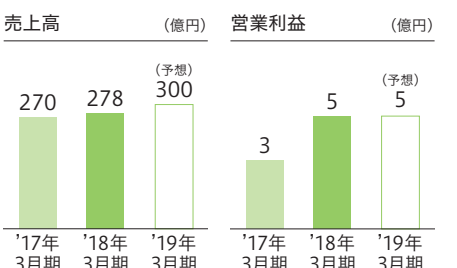
高級宝飾  
Grande Roue

### その他 9.2%

おもな製品 クロック、高級宝飾・服飾・雑貨品、設備時計他

売上高 278億円 前期比 3.0%増

営業利益 5億円 前期比 81.0%増



※2018年1月以降、半導体事業は連結対象外となりました。



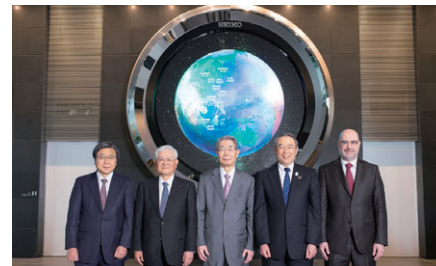
## 特集 コーポレートガバナンス体制の強化

当社は、「社会に信頼される会社であること」を基本理念におき、法令の遵守、経営の透明性、公正性の確保、社会倫理の尊重を重要な経営課題と位置づけ、その実現に向けてコーポレートガバナンス体制の強化推進に取り組み、グループの持続的な成長と企業価値向上を図ってまいります。

### コーポレートガバナンス委員会

2016年4月、経営の客観性と透明性を高めることを目的とし、取締役会の諮問機関として、社外役員が構成員の過半数を占めるコーポレートガバナンス委員会を設置しました。

コーポレートガバナンス委員会では、役員候補者の指名、報酬およびガバナンス関連議題について審議し、コーポレートガバナンス体制の強化に努めています。



(社外役員)

#### ●メンバー

社外取締役	カーステン・フィッシャー
社外取締役	遠藤 信博
社外監査役	山内 悦嗣
社外監査役	青木 芳郎
社外監査役	浅野 友靖
代表取締役会長 兼 グループCEO	服部 真二
代表取締役社長	中村 吉伸



(2018年4月コーポレートガバナンス委員会開催時)

#### ●主な審議事項

##### 役員候補者の指名に関する事項

役員候補者の指名方針や代表取締役が提案する取締役・監査役候補者について審議しています。

##### 役員報酬に関する事項

役員報酬の決定方針や報酬体系・水準の妥当性について審議しています。

##### コーポレートガバナンス等に関する事項

取締役会の実効性評価結果に基づく課題対応など、コーポレートガバナンスに関する事項について審議しています。

→コーポレートガバナンスに関する詳細な情報は当社ホームページよりご覧いただけます。 <https://www.seiko.co.jp/csr/governance/index.html>

## 特集 事業を通じた社会貢献活動



### セイコーわくわく時計教室

子どもたちに時や時計の面白さを伝え、ものづくりの楽しさやチームで協力することの大切さを感じ取ってもらうことを願い、小学校での出張授業「セイコーわくわく時計教室」を開催しています。講師はセイコーの社員が務めています。

#### ●授業の概要

授業は、まず「時」を意識する場面を考えることから始まります。待ち合わせ時間、授業の残り時間、好きなテレビ番組の放送時間・・・日々の生活の中で、当たり前のように時計の時刻を確認しながら生活していることを実感することで、時計の大切さを理解してもらいます。

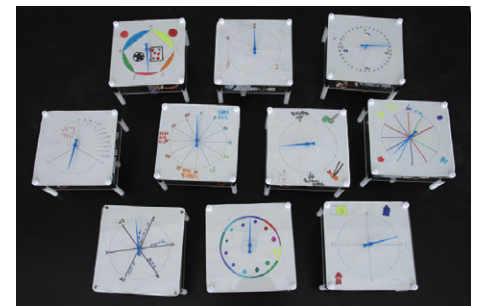
次に、振り子・砂時計・脈拍を用いて10秒を正確に計る実験を行い、時間は「周期」×「回数」で計ることを学びます。

時計の仕組みや歴史を学んだ後は、モーターで動く時計に歯車を組み合わせて、オリジナル時計(簡易置き時計)を作ります。「どんな場面で必要とされる時計なのか」をチームごとに設定し、機能や計測時間、デザイン、そして宣伝方法を自分たちで考えます。

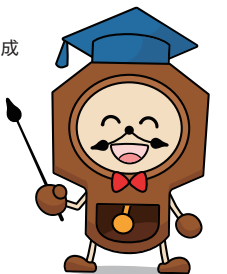
チームで一つの時計を作り上げる過程で、社会の課題を解決していくものづくりの楽しさや、何人もの人が様々な役割を果たすことで初めて時計づくりが可能になることを感じ取ってもらいます。

#### ●子どもたちの声

参加した子どもたちからは、「時計の仕組みに興味を持った」「腕時計を自分で組み立ててみたい」「時計の歴史をもっと知りたい」「オリジナル時計づくりが楽しかった」など、時や時計への関心を寄せる声がたくさん届きました。



休み時間時計、ゆで卵時計などユニークなオリジナル時計が完成



(億円)

主な経営成績	2013年3月期 (第152期)	2014年3月期 (第153期)	2015年3月期 (第154期)	2016年3月期 (第155期)	2017年3月期 (第156期)	2018年3月期 (第157期)
売上高	2,837	3,082	2,934	2,967	2,571	2,685
営業利益	55	140	116	133	74	108
経常利益	32	101	123	118	66	109
親会社株主に帰属する当期純利益 <sup>※1</sup>	55	74	217	121	53	115
純資産	408	647	925	1,026	1,071	1,051
総資産	3,553	3,667	3,337	3,291	3,288	3,075
営業活動によるキャッシュ・フロー	214	155	165	150	42	278
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 20	△ 109	462	△ 83	△ 132	△ 174
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 292	△ 35	△ 668	△ 66	57	△ 117

※1「企業結合に関する会計基準」等の適用に伴い、従来の「当期純利益」は2016年3月期より「親会社株主に帰属する当期純利益」に名称が変更になりました。

1株当たりデータ<sup>※2</sup>

(円)

純資産	943.82	1,521.18	2,187.60	2,287.18	2,380.50	2,523.54
当期純利益	147.07	179.58	526.95	293.81	130.71	280.01
配当金	12.50	25.00	50.00	62.50	75.00	75.00

※2 2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っています。  
2013年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しています。

主な指標

自己資本比率(%)	11.0	17.1	27.1	28.7	29.8	33.8
ROA(総資産経常利益率/%)	0.9	2.8	3.5	3.6	2.0	3.4
ROE(自己資本当期純利益率/%)	17.5	14.6	28.4	13.1	5.6	11.4
PER(株価収益率/倍)	14.3	11.4	5.8	7.6	17.4	9.2
配当性向(%)	8.5	13.9	9.5	21.3	57.4	26.8

→財務データに関する詳細な情報は当社ホームページよりご覧いただけます。<https://www.seiko.co.jp/ir/financial/index.html>

会社情報

会社概要

社名	セイコーホールディングス株式会社
創業	1881年(明治14年)
資本金	100億円
従業員数	137名(単体) 12,033名(連結)
本店所在地	〒104-8129 東京都中央区銀座四丁目5番11号
本社所在地	〒104-8110 東京都中央区銀座一丁目26番1号 電話：03-3563-2111(代表)
WEBサイト	<a href="https://www.seiko.co.jp">https://www.seiko.co.jp</a>

役員 (2018年6月28日現在)

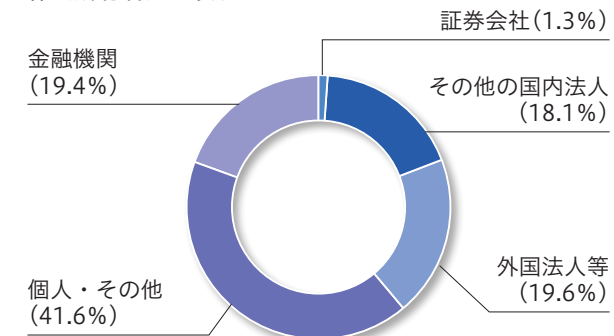
代表取締役会長 兼 グループCEO	服部 真二
代表取締役社長	中村 吉伸
常務取締役	大熊 右泰
常務取締役	石井 俊太郎
取締役	金川 宏美
取締役	瀧沢 観
取締役	坂本 和彦
取締役	高橋 修司
取締役	小林 哲
取締役	カーステン・フィッシャー <sup>*1</sup>
取締役	遠藤 信博 <sup>*1</sup>
常勤監査役	三上 誠一
常勤監査役	高木 晴彦
監査役	山内 悦嗣 <sup>*2</sup>
監査役	青木 芳郎 <sup>*2</sup>
監査役	浅野 友靖 <sup>*2</sup>

<sup>\*1</sup> 社外取締役  
<sup>\*2</sup> 社外監査役

株式情報

株式の状況

発行可能株式総数	149,200,000株
発行済株式の総数	41,404,261株 (自己株式 58,948株を含む)
株主数	12,916名
株式所有者別の状況	



株主メモ

証券コード	8050
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
決算基準日	3月31日
配当支払株主確定日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人および特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
郵送物送付先 お問い合わせ先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話：0120-288-324(フリーダイヤル)
公告の方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載して行います。



## TOPICS

### TEAM SEIKO結成！

陸上の山縣亮太選手、福島千里選手に加え、競泳の坂井聖人選手、トランポリンの棟朝銀河選手を新たにセイコー所属アスリートとして迎え、4名で「TEAM SEIKO」を結成しました。

セイコーは、最新の計測技術で様々なスポーツ競技大会の計時・計測を行い、アスリートの支援・サポートにも取り組んでいます。グループスローガン「時代とハートを動かすSEIKO」のもと、タイム・スコアに挑む選手たちとともに、スポーツの感動を届けます。



(左から)坂井選手、棟朝選手、福島選手、山縣選手

### グランドセイコー ミラノデザインウィークに初出展

4月17日～22日の間、イタリア・ミラノで開催された世界最大規模のデザインの祭典「ミラノデザインウィーク」にグランドセイコーを初出展し、「THE FLOW OF TIME」をテーマに、時の本質に迫るグランドセイコーの世界観を表現しました。

スプリングドライブのムーブメント部品をちりばめた透明なオブジェ12本と、その背後に投影した時のうつろいゆく様を表現した映像を融合させ、日本の美意識と匠の技が生むグランドセイコーの魅力を、エモーショナルな空間の中で来場者に披露しました。



### 年間IRカレンダー

第2四半期			第3四半期			第4四半期			第1四半期		
7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	第1四半期決算発表 四半期報告書提出			第2四半期決算発表 四半期報告書提出			第3四半期決算発表 四半期報告書提出			決算発表	定時株主総会 有価証券報告書提出

## セイコーホールディングス株式会社

〒104-8110 東京都中央区銀座一丁目26番1号  
電話 03-3563-2111 (代表)

